

# ブルーヒンメル

## 猪名川町青少年健全育成推進会議広報紙



- 【目次】
- ①第5回猪名川町青少年フォーラム……………P2
  - ②統合結成10周年記念事業……………P3
  - ③SWING-BYの取り組み（スマホ・ステージ・ボランティア）……P4～6
  - ④全体会・校区委員会・大人と子どもの合同研修会……………P6～8
  - ⑤猪名川町青少年健全育成推進会議の1年……………P8

### ～すべては 「子どもたちの笑顔」のために～

発行／猪名川町青少年健全育成推進会議  
会長 太田 はるよ  
連絡先／猪名川町地域振興部参画協働課  
(電話) 072-766-8783  
ホームページ <http://www.seisuikai.jp>



「つたえる・・・つなげる・・・」

猪名川町青少年健全育成推進会議  
会長 太田 はるよ

「近年、青少年を取り巻く社会環境が目まぐるしく変わり・・・・というフレーズがどこでも言われていますが、実際に、子どもたちはその超スピードで変化していく「生きづらい」環境の中で生きていかなければならない世の中になっています。」

最近、青少年の若者たちと一緒に活動していて、彼らは自分の思いや感情を「言葉」にして「伝える」ことや、それを「行動に移す」ことが下手だなあと感じます。彼らにはもっと「自分らしさ」を大切に生きて欲しいのですが、メディアによる情報過多、便利すぎる生活環境などが原因で、本来持つて生まれた「環境適応能力」が育たないまま成長しているのかも知れません。

私たちが、地域の大人として彼らに「できること」はなんでしょう？「おせっかいな大人」として、「言葉」や「行動」で関わるのが、一番の特効薬なんじゃないかと思っています。大人にもちよつとした「おはよう」「おかえり」と言った声がけをする「勇気」や温かい「思いやり」を持つて行動することが求められているのではないのでしょうか？

子どもは大人の写し鏡と言われますが、大人の世界がそのまま今の若者たちの世界を物語っています。もう一度、大人一人ひとりが、未来ある若者たちに何を伝え、繋げていくべきなのかを考え、できること、すべきことを行動に移して行くことが大切だと思います。

そこで私たちは、若者の声に耳を傾け、柔軟な取り組みを続けていくことを目標に、3つの「わ」を元に活動します。

「話」若者同士・大人同士・大人と若者のコミュニケーションを大切にします

「輪」若者と大人・行政と団体・地域と社会の連携を促して参ります

「和」それぞれがうちとけて、気持ち相手が相手と通じあう社会を目指します

# 猪名川町青少年健全育成推進会議 統合結成 10 周年記念式典開催！



太田会長



宮脇副町長



村上阪神北県民局長

平成 29 年 2 月 25 日（土）猪名川町文化体育館小ホールにおいて「猪名川町青少年健全育成推進会議 統合結成 10 周年記念式典」を開催しました。当推進会議が町内の各中学校区での活動から統合結成され 10 年を迎え、記念式典を執り行いました。オープニングでは、猪名川中学校吹奏楽部による演奏が行われ、「ヤングマン」、「J-BEST～日本を勇気づける名曲たち～」、「恋」、「サタデーナイト」の 4 曲を披露いただきました。

また、当推進会議の統合結成 10 周年記念式典において、宮脇猪名川町副町長、村上阪神北県民局長よりご祝辞を賜りました。

お忙しい中、110 名の方々がお集まりいただきました。誠にありがとうございました。



すばらしい演奏で式典に華を添えていただきました。



記念冊子の表紙



## 第5回猪名川町青少年フォーラム開催

# 若者が育つ地域とは？ 大人の関わり方とは？

## ～大人と若者で議論～

統合結成10周年記念式典が執り行われた後、記念事業として第5回猪名川町青少年フォーラムを行いました。

第1部は、記念講演として、「これからの社会を担う若者が育つ地域のあり方・大人の関わり方」をテーマにNPO法人JAE(ジャイー)代表理事の坂野 充(ばんの みちる)さんにご講演いただきました。

これからの時代や地域のあり方について取り組んでいくために必要なことや、JAE(ジャイー)が連携支援した事例紹介を交えながら若者が育つまちづくりについてお話いただきました。

事例紹介の一つ「島根県海士町(あまちょう)の島前(どうぜん)高校魅力化プロジェクト」の事例は、年々生徒数が減少する島前高校の生徒数を増やすためのプロジェクトでした。

地域の未来の担い手を地域全体で育てるために島だからできる教育を考え、島全体が学校となり、地域の方も先生となり海士町の大人が本気で取り組んだ結果、生徒数は増えていきました。

どんな地域を創りたいか。どんな若者に育ててほしいか。大人は何ができるのか？など具体的な取り組みを考える良い機会となりました。



NPO法人JAEは、教育機関、企業や地域等と連携し、課題解決型学習プログラムや実践型インターシップなど独自プログラムの提ども、また教職員向け研修、学校を中心とした地域との連携支援などを行い、希望ある日本の未来を創造する若者を輩出する活動をしている。

### プロジェクトへの関わり方

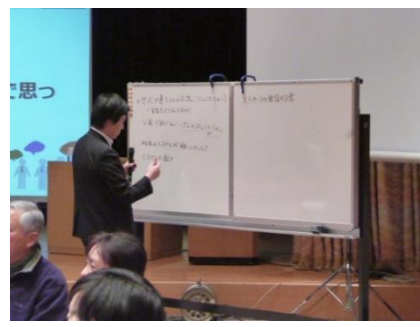
- ① 「お膳立てしない」  
用意されたものには本気になれない。
- ② 「大人がチャレンジする」  
子どもは大人の背中を見て育つ。
- ③ 「地域全体で取り組む」  
大人同士のコミュニケーションがカギ。



島根県海士町島前の事例紹介

第2部は、若者に関する大人のフリートーク。第1部に引き続き、NPO 法人 JAE（ジャイー）代表理事の坂野 充（ばんのみちる）さんにコーディネーターとして進行いただきました。

大人と若者のコミュニケーションの図り方・あり方などについて、高校生、大学生も参加し5グループに分かれ意見交換をしました。



若者・大人分け隔てなく意見交換

## スマホ部会

# 続・SWING-BYによるスマホの授業！

～3か年で6,000名を超える児童・生徒が受講～

試行錯誤を繰り返し、町内外の小中学生へのスマホの授業を継続して展開してきたSWING-BYによる小中学生へのスマホの授業ですが、様々な課題を乗り越えて来たことは、皆様もご承知おきいただいている通り、活動を開始した当初は「高校生が先生となり児童・生徒へ授業を行う」事を核とした新しい形の取組は他に類するものがなく、この活動について一足飛びに現在のような活動趣旨への賛同を得たとは言いきれません。支持や理解が思うように集まらない中、スタートしたスマホの授業は、少しずつではありますが、地域の皆様から賛同意見が集まり、この活動を開始して3か年目を迎えた平成28年には、SWING-BYによるスマホの授業を受講した児童生徒の総数は延べ6,000人を超え、現在も増え続けています。

若者たちの大きな目標は、10,000人の小中高生へ授業を実施する事だとの設定がされており、我々大人は若者の挑戦していく姿をこれからも見守っていかなければならないと感じています。



授業の様子



# ステージ部会

## オールジャンルフェス

### 「サマフェス with SWING-BY～無限への挑戦～」

### SWING-BY TYPHOON ～夏の魔法をかけちゃうぞ♡～



8月28日に恒例のオールジャンルフェス「サマフェス with SWING-BY～無限への挑戦～」をイナホールで開催しました。テーマは「SWING-BY TYPHOON～夏の魔法をかけちゃうぞ♡～」を掲げ、夏の暑さに負けない熱いステージとなるよう、当日まで準備を重ねてきました。

さらに、当日はスペシャルシークレットゲストとして、アニメ・ルパン三世のエンディングテーマで有名なチャーリー光星さんが出演して下さいました。

最後はチャーリーさんと共に出演者全員が心を一つにしてSWING-BYのテーマソングなどを合唱し、感動のフィナーレとなりました。





## ボランティア部会の主な活動

## ＜清掃ボランティア＞

- ・早朝日生中央駅前清掃（原則、毎週二回）
- ・猪名川クリーン作戦への参加（29年2月）

## ＜福祉ボランティア＞

- ・オアシス猪名川訪問（28年8月）

## ＜行事ボランティア＞

- ・ほたるのタベ「出店&演奏」（28年6月）
- ・楊津盆踊り「コイン落とし」（28年7月）
- ・日生夏祭り「スーパーボールすくい」（同上）
- ・若葉夏祭り「準備&演奏」（28年8月）
- ・若葉X'masコンサート（28年12月）

ボランティア部会の活動は、平成28年9月より四期目に突入。活動の存続が危ぶまれた時期もありましたが、持ち前の団結力でこれを克服し、「人と地域を元気に」を合言葉に、従前からの「駅前挨拶・清掃活動」をはじめ、ステージ部会と連携した「音楽・出店活動」や、福祉施設での「音楽・対話活動」など若者の持つ行動力を存分に発揮し、精力的なボランティア活動を地域で展開しました。



高齢者施設での対話活動（オアシス猪名川）

毎年続けている地域の河川清掃活動（猪名川町林田地内）

# 校区委員会 開催！

## 六瀬校区委員会

テーマ：新聞投稿をととしてスマホの  
あり方勉強会

朝日新聞7月9日、7月15日の若い世代「スマホって？」を参考に小学生・中学生・大学生の投稿及び家庭でのスマホに関する考え・現状を意見交換した。

## 【まとめ】

スマホ・携帯の利用は、資格も免許もいりません。いわばナイフ・包丁と同じで使う人の側に責任があり、その危険性を子どもに教えると共に判断能力を養う事が必要でないでしょう



## 中谷校区委員会

中谷中学校区委員会を、2回（8月19日、2月15日）開催しました。

SWING—BYの活動紹介や校区内の子どもたちの状況を話し合いました。SWING—BYが子どもたちの居場所になっていることや、先ず、大人がスマホやネットについて知る、学ぶことが大切であることを共有しました。



## 猪名川校区委員会

平成28年7月26日（火）、猪名川校区委員会を開催しました。猪名川中学校、猪名川小学校、白金小学校、つつじが丘小学校の子どもたちを取り巻く環境、スマホ事情等、身近な情報を交換・共有しました。



## 合同研修会

11月25日



講師：中西教育長

テーマ：『「分かち合うこと」について分かち合おう』

なんだか少し難しそう…と思いながら聴き始めたのですが、実はこれが、「あーそうかあ」「確かに！」「なるほどねえ」と実感させていただいたお話でした。

最近、私たちの周りでは、「人と話をする環境でない、喋らない状況になっている。社会の仕組みがネットワーク化・システム化され、人と話をしないでやりとりしている。例えば、メールやSNSの利用など。そうすると、会話の苦手な人や口下手な人にとって、会話をする機会がますます減り、“話をすることに慣れる場が減ってくる”という状況になっていますよね。」ということでした。

コミュニケーションのスキルやマナーは場数を踏むことで獲得していきます。そもそもコミュニケーションの目的は、「仲良くなるため」「情報を正確に伝えるため」「相手の行動を促すため」など多くの目的を含んでいます。

今回のお話で、コミュニケーションの語源が「分かち合う」ということを意味すると教えていただきました。私たちはそれぞれの立場・環境で伝えたり共有することで関係ができています。「思い違いは当たり前」「トーク力より傾聴力」「練習と慣れで上達」「テーマを決めて準備する」「ノンバーバルを大切に。特スマイル！」このことを心に留め、老若男女問わず、コミュニケーションがとれるようにしよう！と思いました。



# 合同研修会

12月14日

講師：松本 篤弘さん

テーマ：「私はこうして失敗から這い上がった」

～偉人たちの実例いろいろ～

12月14日（水）第3回全体会議が開催され、講師として松本篤弘先生を招いて「私はこうして失敗から這い上がった」をテーマとして講演いただきました。

松本篤弘さんは猪名川町の親善大使をされ40カ国、延べ230カ国を訪問し、月刊誌「建材フォーラム」に23年間（連載中）、「触角」コラム他多数執筆されておられます。

講演内容としては、自分の経験を元に小学校・中学校時代に受けたいじめの話や、小さい身体の為相撲部に入りコンプレックスを解消しレスリングとの出会いを聞かせていただきました。

また、社会人になってからの職場の上司からのパワハラ、パソコンが出来ずうつ病となり、これでは駄目だと思い自分で解決方（読書、音楽、レスリング）等に取り組んだ話もしていただきました。

講演の最後に松本篤弘先生のご友人である高柳さんのバイオリン演奏を披露いただきました。



総会の様子



啓発ティッシュの配布

## ＜平成28年度年間活動日誌＞

- H28. 5.19 第1回全体会（各校区委員選出）  
 6. 4 平成28年度総会（活動方針など）  
 6. 11 ほたるのタベ（パトロール＆模擬店）  
 8. 28 SWING-BY～無限への挑戦  
 11. 3 子ども・若者健全育成月間啓発活動  
 11.25 第2回全体会・合同研修会  
 12.14 第3回全体会・合同研修会  
 H29. 2. 25 統合結成10周年記念式典  
 第5回猪名川町青少年フォーラム  
 ＜その他の活動＞

- ・役員会（毎月）
- ・各中学校区委員会（随時）
- ・ブルーヒンメル発行
- ・青少年指導員としてのパトロール
- ・阪神間及び町内の関係団体主催行事への出席

### ＜連携活動＞

- ・猪名川町青少年問題協議会（年2回）
- ・こころ豊かなまちづくり推進協議会
- ・地域安全推進協議会
- ・猪名川町いじめ問題対策審議会

## 編集後記

猪名川町青少年健全育成推進会議は本年度で統合10周年の節目を迎えました。10周年記念誌を見ると、夏のステージの変遷やBEATからSWING-BYへの移行など、この10年の中でも紆余曲折を経て少しずつ“進化”していることを感じます。さらに今年は、10周年記念式典もありましたし、大人と若者の合同研修会など新しく始動したものもあり、新たなスタートが切られた年でもあったのではないのでしょうか。加えて、スマホの授業や清掃活動、夏のステージ運営などがさらに歴史を重ねて洗練されていくことでしょう。大人と若者が協力して猪名川町がより住みやすい町になることが期待されます。（広報委員 K）